

Subject	Japanese Society and Culture A
Day/Period/Place	Fall Semester Mon 3 川北キャンパスA307
Categories	General Education Subjects - Expansion Subjects-
Credit(s)	2
Object	全
Instructor (Position)	佐藤 勢紀子 所属:
Term	2/4/6/8セメスター
Course Numbering	ZDG-GLB803J
Language Used in Course	Japanese

Class Subject	【展開ゼミ】コミュニケーションの諸相-国際共修ゼミ-						
Object and Summary of Class	日本人学生と外国人留学生がともに日本語の用法や日本でのコミュニケーションの仕方について意見交換を行なうことを通じて、日本文化を複眼的に捉えると同時に、世界の多様な文化についての知見を深める。						
Goal of Study	<ul style="list-style-type: none"> ・日本文化を考察することによって、自己の出身文化圏の文化(日本人の場合は日本文化)を新しい視点から見直すことができるようになる。 ・異なる言語・文化圏を背景とする者同士が、それぞれのコミュニケーション・スタイルの違いを認識し、互いに配慮しつつ交流できるようになる。 						
Contents and Progress Schedule of the Class	<p>・授業内容と方法 テキストとして、教科書を中心に、日本語や日本文化について書かれたいくつかの論説文を選んで読む。3~4人程度のグループに分かれ、グループごとに交替で発表する。発表担当グループは、テキストの担当部分の要旨を紹介し、テキストの記述内容に関する実例およびコメント(感想、意見、疑問など)を提示する。それをもとに、グループで、あるいはクラス全体で、意見交換を行なう。1人の学生が学期中に発表する機会は2回になる見込みである。また、毎回授業についての短い感想、意見、質問等をコメント・シートに記入して提出する。次週にその内容をクラスで共有し、発展的な意見交換を行なう。</p> <p>・進度予定 1回目: ガイダンス(1) 授業全体の内容、テキスト、スケジュールについての説明 2回目: ガイダンス(2) 発表の仕方についての説明、アイスブレイキング 3回目: グループ分け、コミュニケーションについての意見交換、グループ・ワーク(発表の準備) 4回目: グループワーク(発表の準備)</p> <p>5~9回目: 第1ラウンドの発表および意見交換 メイン・テキストから10トピックを選び、1回に2つずつ取り上げる。 (例)「なに」、「ていうか」、「やっぱり」、「ね」と「よ」、「やる」と「もらう」、「この」「その」「あの」、「は」と「が」、「だ」と「じゃない」、「…みたいなの」</p> <p>10回目: グループ・ワーク(発表の準備)</p> <p>11~15回目: 第2ラウンドの発表および意見交換 サブ・テキストから10トピックを選び、1回に2つずつ取り上げる。 (例) あいさつ、人称、役割語、ジェンダー、方言、敬語、あいづち、配慮表現、非言語コミュニケーション</p>						
Evaluation Method	平常点および期末レポートにより評価する。平常点は出席、発表、クラス活動への参加によって付ける。						
Textbook and References	No	Title	Author	Publisher	Year	ISBN/ISSN	Classification
	1.	『ていうか、やっぱり日本語だよ。—会話に潜む日本人の気持ち—』	泉子・K. メイナード	大修館書店	2009	9784469222074	教科書
	2.	『話しことばと日本人—日本語の生態—』	水谷修	創拓社出版	1979	4871380572	参考書
	3.	『日本語教育と会話分析』	堀口純子	くろしお出版	1997	9784874241462	参考書
	4.	『外国人とのコミュニケーション』	J. V. ネウストブニー	岩波書店	1982	4004202159	参考書
	5.	『ものの言い方西東』	小林隆・澤村美幸	岩波書店	2014	9784004314967	参考書
	6.	『身ぶりとしぐさの人類学』	野村雅一	中央公論社	1996	4121013115	参考書
	7.	『日本語とジェンダー』	日本語ジェンダー学会編	ひつじ書房	2006	4894762749	参考書

	8. 『役割語研究の地平』	金水敏	くろしお出版	2007	9784874243961	参考書
	9. 『日本語の配慮表現の多様性』	野田尚史・他編	くろしお出版	2014	9784874246221	参考書
	10. 『敬語は変わる一大規模調査からわかる百年の動きー』	井上史雄編	大修館書店	2017	9784469222609	参考書
URL						
Preparation and Review	第1ラウンド、第2ラウンドそれぞれのグループのメンバーとともに2回の発表の準備を行なう。発表と意見交換で取り上げるテキストを事前に読んで、内容をきちんと把握しておく。					
Practical business						
Students must bring their own computers to class [Yes / No]	不要					
Contact						
In Addition	外国人留学生対象日本語プログラムの中上級クラス「JC520」と合同で授業を行なう。使用言語は日本語。学生の発表・意見交換が中心となるゼミ形式の授業であるため、定員を日本人学生・留学生合わせて35名とする。受講希望者が多い場合は、初回に実施するアンケート調査への回答にもとづき、受講者を選定する。					
Last Update	2020/09/18 16:17					